

第5回総合計画審議会における主な意見等

1 基本計画（案）について（現状と今後の見通し、土地利用方針）

- ① 本文やグラフ上の年表示について、併記してある部分もあるが、西暦に加えて和暦も加えるとわかりやすくなるのではないか。
- ② 清須市の人口の現状データに、全国のデータを入れて比較する形で整理していただいたが、愛知県・清須市は全国ベースで見ると特別な地域であり、力のある地域であると改めて感じた。今後もリニアの影響もあり、前を向いて自信を持ってやっていける地域であると思う。
- ③ 28ページの財政状況（歳出の状況）の繰出金の状況について、介護保険特別会計と後期高齢者医療特別会計への繰出金が毎年度増加しているとあるが、これらの特別会計の収入・支出についても関係するデータがあったほうが、増加している状況が目に見えて分かりやすくなり、良いのではないか。
- ④ 33ページの清須市で想定されるリニア・インパクト（地域全般）について、清須市における経済効果は約89億円とあるが、近隣市と同等程度ということは分かるが、それが清須市においてどのくらいの大きさで、どのように活かせるのかという点が分かりにくい。
- ⑤ 35ページの土地利用方針について、JR枇杷島駅、名鉄新清洲駅・須ヶ口駅への都市機能の集積や農地の活用など、計画に書くのは簡単であるが、現実的には方針に即した土地利用を進めていくのはなかなか難しいのではないか。

2 基本計画（案）について（37の施策、行政運営マネジメントの実行）

- ① 市民満足度には効率性という視点が入っていない。安心や快適は確保しなければならないものなので難しいかもしれないが、それ以外の政策分野では、例えば税金を投資してそれが5年間で回収できたかどうかというような、民間の経営的な観点からの指標も必要ではないか。
- ② 達成度指標の目標値について、多くの目標値が「基準値から上昇」となっているが、1%の上昇と50%の上昇では、そのためのアプローチの方法も変わってくるので、具体的な数値を掲げる場合とそうでない場合の整理が必要。
- ③ 60ページの施策204「ひとり親家庭への支援の充実」の達成度指標、「ひとり親家庭からの就労相談による就労者数」について、相談件数自体がそんなに多くないことから、割合ではなく絶対数（就労者数）で示しているのか。
- ④ 66ページの施策302「地域福祉の充実」などの中で、「高齢者が地域のつながりを強くするために、それぞれ活動する」という意味合いの表現を入れることができな

- ⑤ 68ページの施策303「高齢者福祉の充実」の中で、地域包括ケアシステムの構築を進めているとあるが、市民の方々に地域包括ケアシステムの意義を理解していただくためには、“重度な要介護状態となっても”住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができる、といった表現を加える必要があるのではないか。
- ⑥ 104ページの施策603「文化財保護の推進」について、朝日遺跡の関係で愛知県が計画している「愛知県清洲貝殻山貝塚資料館」の拡充整備についても、この基本計画に少し入れたほうがよいのではないか。
- ⑦ 110ページの施策606「男女共同参画社会の推進」の達成度指標、「社会全体で男女が平等であると思う市民の割合」について、この“社会”というのは一般的な社会全体という意味で、“清須市において”というイメージとは違うのか。
- ⑧ 116ページの施策703「自治・コミュニティ活動の振興」の達成度指標、「ブロックや自治会等の活動に参加している市民の割合」について、現在参加している人の割合なのか、それとも過去に参加したことがある人も含む割合なのか。
- ⑨ 127ページの行政評価について、達成度指標の目標値は、毎年度実績を評価する中で、目標値も修正していくのか。また、「外部の視点からの評価を実施する」とあるが、外部の視点とは、具体的にはどういったことを想定しているのか。